

山行報告書

日時	2015年5月9日(土)～10(日)		天候	晴れ
山名	県連登山学校 中級コース 開校式、第一回講習 於 大津山B&G(南関町)			
CL	木下講師	参加者	高野(準講師 9日のみ)、高田 (2)名	
(コース)	<p>9日13:00～22:00・・・自己紹介、ロープワーク、オールラウンドの必要装備の解説、 ファーストエイド (於 大津山B&G)</p> <p>22:00～24:00・・・リフレス大牟田に移動して 登山学校に対する意見交換会、懇親会、リフレス大牟田 泊</p> <p>10日8:00～18:00・・・ロープワーク、開校式(登山学校の目的)、クライミング装備の説明、確保理論、クライミングシステム実技、ラッセル(懸垂下降)実技、ミーティング (於 大津山B&G)</p>			
(コメント)	<p>昨年受講された諸先輩方よりハードなカリキュラムであることは聞いていましたが、2日間打っ通して講義がなされ、へとへとになったというのが正直な感想です。開校式での登学の目的の説明の中で、福岡県連では約1,000人が会員登録されてますが、ここ10年間で約10人、つまりほぼ毎年1人の死亡事故があるそうです。そこで昨年からは安全登山の技術・理念を身につけるべく人材を育成し、また拡ぐ会員に伝授し、福岡県連全体で死亡は固より、重大な事故を起こさないために登学が刷新されてスタートしたと話がありました。決して個人的な技術を高めるための場ではないとのこと。今年1年間、登学の理念を常に念頭に置き、多くのことを習得することに努めたいと思います。以下 断片的ですが開校式の内容です。</p> <p>①事故を起こさない登山の普及・・・メンバー全員で十分な時間をかけて山行計画を立てる・パーティの弱点の把握・デッドラインの共通認識(ex ここまでだったら動いていい)・必要技術の習得(ex ツェルトが使用できるか)・最少必要装備・リーダーに連れて行ってもらう山行はリーダーがダメになったときそのパーティは全員ダメになる。</p> <p>②さりげなくロープの慣行・・・簡易ハーネス、補助ロープの携行。ロープを出すことは恥ずかしいことではない、危険と思われる場所ではためらうことなく使用する。</p> <p>③山を甘く見ない・・・山を甘く見ていた(過信)・何度も来たことがある(慢心)・最悪のことを考えない(想像力の欠如)・リーダーに誰も何も言わない(主体性の欠如)</p>			
費用概算	<p>(交通費/人) 3,000円(南関ICから筑紫野ICまで高速道1回利用) 運転者以外1名</p> <p>(その他/人) 大津山B&G 施設使用料700円・リフレス大牟田 宿泊費2,000円</p>			

(2015.04.09改訂)